

## 第5章

### 総合的な評価



## 第5章 総合的な評価

本事業は、本連合管内の統合的なごみ処理システムを構築することを目的とし、須坂市において最終処分場の整備を計画するものである。

計画地の埋立面積は約19,900m<sup>2</sup>、埋立容量は約18万m<sup>3</sup>であり、埋立期間は15年間を計画している。

計画地は、土取場として土砂採取が行われていた場所であり、北東側、南東側、南西側の三方を山に囲まれ、北西側が扇状地となっている。扇状地には果樹園、水田、畑などの耕作地や集落が存在する。

本調査では、計画施設の建設工事、存在及び供用に伴い周辺環境へ影響を及ぼす可能性のある項目として、以下の項目について予測を行った。

- ・大気質（建設工事、存在・供用）
- ・騒音（建設工事、存在・供用）
- ・振動（建設工事、存在・供用）
- ・悪臭（存在・供用）
- ・水質（建設工事）
- ・地下水（建設工事、存在・供用）
- ・土壌汚染（存在・供用）
- ・植物（存在・供用）
- ・動物（存在・供用）
- ・景観（存在・供用）

各種の環境保全対策等の条件に基づき予測を実施した結果は、各項目とも環境保全目標を満足するものと評価する。

なお、本事業では、施設供用後に悪臭、地下水等のモニタリングを行い、環境に影響が生じている場合、あるいはその恐れがある場合には、速やかに適切な保全対策を検討・実施することにより、環境の保全に万全を期す計画である。